

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2023年 6月 2日

埼玉県知事 殿

提出者

住所 埼玉県戸田市美女木北1-5-1

氏名 三英電業株式会社 北関東支店  
北関東支店長

永島克己

電話番号 048-422-1155

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	三英電業株式会社 北関東支店 埼玉支社 (埼玉県内電気工事現場)
事業場の所在地	埼玉県戸田市美女木北1-5-1
計画期間	2023年4月1日 ~ 2024年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	設備工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 (2022年度実績) 5,500,000,000円
③ 従業員数	66名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1

(日本工業規格 A列4番)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙-1

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2の通り	
	排出量	別紙-2の通り	t
	(これまでに実施した取組) 1、施工計画での産業廃棄物の抑制を盛り込む。 2、撤去材料のリユースを実施。 3、廃棄物ごとの分別の徹底。		
② 計画	【目標】産業廃棄物の総排出量を前年度以下にする。		
	産業廃棄物の種類	別紙-3の通り	
	排出量	別紙-3の通り	t
	(今後実施する予定の取組) 1、現状の取り組みを継続する。		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1、がれき類、廃プラ、金属くず、木くず 2、明確な分別個所の設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 1、がれき類、廃プラ、金属くず、木くず 2、取り組みを継続。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当無し	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

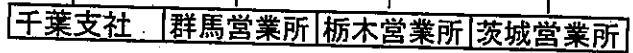
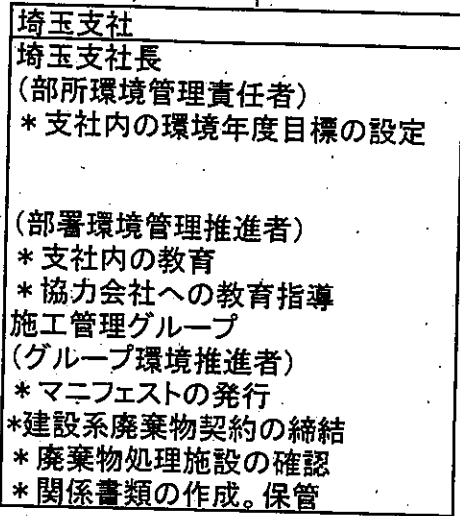
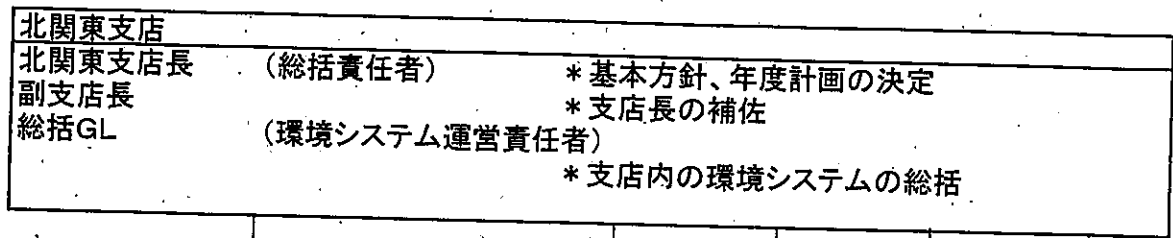
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
② 計画	【目標】なし		
	産業廃棄物の種類	該当なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

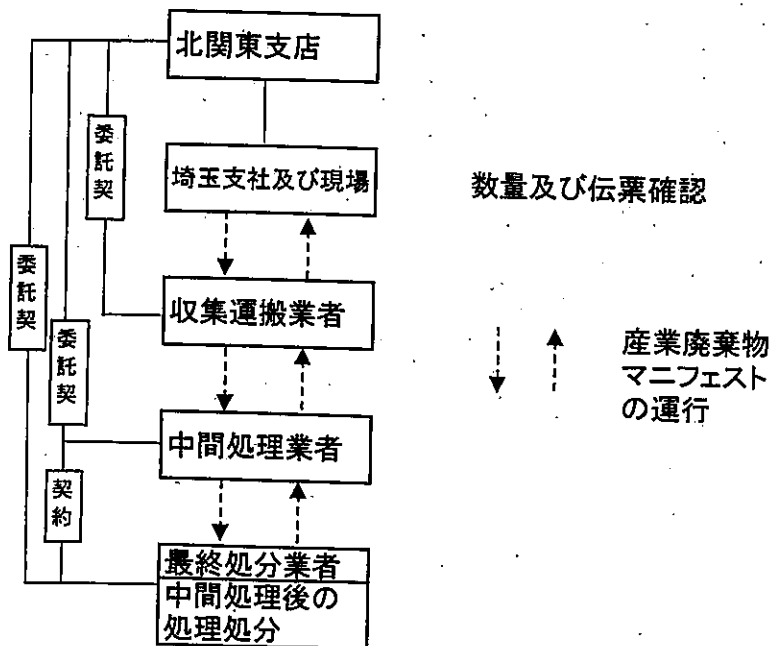
① 現状	【前年度（2022年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙-2の通り	
	全処理委託量	別紙-2の通り	t
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙-2の通り	t
	再生利用業者への処理委託量	別紙-2の通り	t
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙-2の通り	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙-2の通り	t
	(これまでに実施した取組) 1、循環型社会構築のためリサイクル率の高い業者に委託。		

②計画	【目標】優良認定処理業者への積極的な委託		
	産業廃棄物の種類	別紙-3の通り	
	全処理委託量	別紙-3の通り	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙-3の通り	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙-3の通り	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙-3の通り	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙-3の通り	t
	(今後実施する予定の取組)  1、優良認定処理業者への積極的な活用。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に関する管理体制  
環境マネジメントシステム



廃棄物の処理工程



廃棄物の種類 項目	2022年度発生量 目標	①2022年度排出 量	②自己直接再生 利用	③自己直接埋め 立て又は海洋投 入量	④自己中間処理 量	⑤自己処理のう ち熱回収量	⑥自己中間処理 後の残存量	⑦自己中間処理 により減量した量	⑧自己中間処理 後再生利用量	⑨自己埋立処分 又は海洋投入量	⑩直接及び自ら 中間処理した量 の処理委託量	⑪⑩のうち優良 認定処理業者へ の処理委託量	⑫⑩のうち再生 利用若業者への 処理委託量	⑬⑩のうち熱回 取認定業者への 処理委託量	⑭⑩のうち熱回 取認定業者以外 への熱回収を行 う業者への処理 委託量
がれき類	100	1112											39.5		
コンクリート	20	39.5											1190.8		
アスベスト	1500	190.8													
小計	1620	1341.3											1230.3		
汚泥	5	4.17													
小計	5	4.17													
廃プラスチック類	0	0													
小計	0	0													
木くず	0	0													
小計	0	0													
金属くず	0	0													
小計	0	0													
紙くず	0	0													
小計	0	0													
混合廃棄物	30	64.5													
小計	30	64.5													
小計															
小計															
合計	1655	1410.2									1299.0		1230.3		

1,298.97

1,410.17





備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。